

逆瀬川 あゆみだより

NO.231　2026．10

社会福祉法人
聖隷福祉事業団
逆瀬川あゆみ保育園
宝塚市逆瀬川 2-2-8
TEL0797－77－0415

残暑がようやく和らぎ、子ども達も園庭で思い切り体を動かせる季節になりました。

この夏もびっくりするくらい水遊びを楽しんだ子ども達！水が苦手？と思うような姿があったお子さんが、いきいきとした表情を見せてくれていたのは、繰り返しの経験からくる自信なのかも知れませんね。これからの季節も、土や虫に触れ、たくさんの自然と出会える時間になることを楽しみにしています！

ここ数年、「自己肯定感」という言葉をよく耳にすることがあります。しかし、多くの場合、この言葉の裏側には、「自分を認めて欲しい」という欲求があるのでは・・という見解もあります。それだけ、「認められていない」と感じている人が多いのかも知れません。「自己肯定感を高めなくちゃ」ともがき、本当は、しんどいのに、無理してポジティブな人を演じていると追い詰められてしまいますね。自己肯定感ということだけに捉われるのではなく、『心の土台』とつくることこそが、大切なのかも知れません。例をあげると、不安定な土地に高い柱を１本建てても家が安定しないのと同じで、その下にある土台をしっかり安定させないと・・という考え方ですね。心の土台は、乳幼児期に形成されると言われていて、基本的信頼、自己コントロール、自発性の３つと言われています。この３つを乳幼児期に形成できた子どもは、後の人生において、いろいろな困難や危機に陥った時に、この土台を足場に何とか乗り越えていくことができると言われています。

基本的信頼感とは・・？基本的信頼とは、他者への信頼、人生への信頼、命への信頼、そして、何より自分への信頼のことです。「生まれてきてよかった！この世は信頼できる、人は信頼できる、大切に扱ってもらうに値する！」という気持ちを育てることです。生まれてきた赤ちゃんが感じていることを言葉にするとこんな感じかも知れません。ありのままの自分をオーケーだと思えることが自分を信頼することに繋がります。生まれた時から始まっています・・

自己コントロールとは・・？心理的な自己コントロールとは、不快な時、ただ泣いていた赤ちゃんも、泣く代わりに少しずつ、言葉で自分の欲求を表現することで、問題解決をはかるようになり、自分の不快が何からきているのかを自覚するようになります。成長と共に、自己の概念がはっきりしていき、同時に他者という概念も理解していきます。そうなると、自己と他者の対立も生じ、折り合いをつけるということをやりとりから学んでいきます。欲しくても、他者の物をとってはいけないとか、腹がたっても暴力を振るってはいけないとか、集団のルールに従わなければいけない時もあるなど。これは、自分と同様、他者も尊重しなければいけないという基本的な原則を学ぶことです。心の自立には、大人の援助が不可欠です。

自発性とは・・？子どもは本来、自発的な存在ですが、時間的余裕がなかったり（例　お稽古ごとに追われる日々など）与えられすぎてしまうと、何かやりたいことを自分で選んで自分からするということが削がれてしまう場合があります。自分で何でもやりたがる時期にその気持ちを尊重してあげることが大切かも知れません。そして、大人の忍耐は必要ですが、やりたがる時には、任せていきましょう！

※人格の土台をつくる子育てより

※ポイントを知って、できることを少しずつ・・・ですね！　　辻田　紀子

9/7～11 トライやるウィークで、光が丘中学校の生徒さんが 2 名きてくれました。お姉さんたちがクラスに入ってくれるととても嬉しい子ども達。最終日には、ひつじぐみのお部屋で出し物の劇を披露してくれました。「あゆみ村にみんなの食べ物を奪いにきたオバケのお話」でした。お姉さんからひとりずつブレスレットをもらい、きらきらぼしを歌うとオバケが逃げていく！というストーリーだったので、子ども達は大きな声できらきらぼしを歌いました。見事、オバケは逃げていきました！9/28 からは宝梅中の生徒さんがきてくれています。またまた最終日の出し物に期待がふくらみます。

🌈10 月の予定

礼拝 5 日 13 日 19 日 26 日

遠足（ひつじ組）23 日（予備）28 日

ひつじ組　保育参加会

うさぎ組　個人懇談

りす組　　保育参観

※11 月の予定について

収穫感謝祭・・・11 月 9・10 日

芋煮会・・・11 日

～うさぎ組　個人面談～

30 分という短い時間ですが、面談参加のための日程調整、ありがとうございます。

園でのお子さんの様子をお伝えし、お家での様子もお聞きしながら有意義な時間を持たせていただいています。今後、ひよこ組の個人面談、りす組の保育参観を予定しています。

保護者の方のお話を伺ったり、園でのお子さんの姿や表情を参観して頂いたりすることで、よりお互いの理解が深められたらと思います。りす組の参観は、是非、お子さんに見つからないように、ご注意を！

お誕生日おめでとう

5 名のおともだち

すくすくおおきくなあれ♪

神の言葉で生きる



イエスはお答えになった。「『人はパンだけで生きるものではない。神の口から出る一つ一つの言葉で生きる』と書いてある。」　（マタイ４：４）

宝塚栄光教会牧師　岩間　洋

イエス様が神様のお働きを始められる時、荒野で悪魔の試みを受けられました。その時、悪魔は、石をパンに変えてみよと誘惑してきましたが、イエス様は上掲の御言葉をもって誘惑を退けられました。

私たちは、きちんと食事をとって体の健康が保たれます。しかし、私たちの魂は口から入る食べ物では養われません。耳で聞く、または目で読む神の御言葉によって、私たちの魂が養われます。天地創造の昔、神様は人をご自分のかたちに造られました。神のかたちに創造された私たちが真に生きるのは、神の御言葉によるのです。ですから、神の御言葉が語られる週に一度の礼拝は、とても大切なのです。

物質文明が発達した今日、ともすると心の養いがないがしろにされがちな中で、私たちを本当の意味で生かす神の御言葉の大切さを、より深く知りたいと願います。